

## 第24回

# 定時株主総会 招集ご通知

**開催日時** 平成25年9月26日(木曜日) 午前10時  
(受付開始午前9時)

**開催場所** 東京都港区北青山三丁目6番8号  
青山ダイヤモンドホール  
地下1階「サファイアルーム」

**決議事項** 第1号議案 定款一部変更の件  
第2号議案 取締役5名選任の件  
第3号議案 監査役1名選任の件

### 目次

■ 経営ビジョン	1
■ 株主の皆様へ	2
■ 第24回定時株主総会招集ご通知	3
<添付書類>	
■ 事業報告	5
■ 連結計算書類	19
■ 計算書類	23
■ 監査報告書	27
■ 株主総会参考書類	30
■ ご参考	35

株式会社エム・エイチ・グループ

経営ビジョン



“ Make the first ”

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 佐藤 文彦

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成2年の設立以来、人と社会に貢献すべく、常に立ち止まることなく積極的な事業展開を進めております。

当期（平成25年6月期）におきまして、当社グループは、BSサロンの出店促進を目的に当期より開始した店舗設備リーシング、直営サロン運営事業の再編など「モッズ・ヘア」ブランドの成長基盤を構築することに注力してまいりました。また、前期で有利子負債を完済し、キャッシュフロー経営の体質を取り戻し財務基盤が強化された結果、当期目標の一つでありました営業利益ベースでの4期連続増益、および増配を達成することができました。

これからも、当社グループは、ヘア・ファッションに携わる企業として、当社にしかできない“ワクワクする何か”を創造しながら、一人でも多くの方に喜びを提供できるよう成長の歩みを続けてまいります。また当社は、企業活動を通じてステークホルダーの皆様の利益に貢献するとともに企業価値を向上するため、役職員一丸となって努めてまいります所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご期待を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株 主 各 位

東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目11番1号

株式会社エム・エイチ・グループ

代表取締役社長 佐藤 文彦

## 第24回定時株主総会招集ご通知

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第24回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、郵送またはインターネット等により議決権を行使することができます。

郵送により議決権を行使される場合には、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討いただきまして、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき平成25年9月25日（水曜日）の午後5時までに到着するようにご送付くださいますようお願い申し上げます。

また、インターネットにより議決権を行使される場合も同様に株主総会参考書類をご検討いただきまして、後記の「インターネットによる議決権行使」（33頁から34頁）をご高覧のうえ平成25年9月25日（水曜日）の午後5時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

### 記

1. 日 時	平成25年9月26日（木曜日）午前10時
2. 場 所	東京都港区北青山三丁目6番8号 青山ダイヤモンドホール 地下1階「サファイアルーム」 (末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)
3. 目的事項 報告事項	1. 第24期（平成24年7月1日から平成25年6月30日まで）事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第24期（平成24年7月1日から平成25年6月30日まで）計算書類の内容報告の件
決議事項	第1号議案 定款一部変更の件 第2号議案 取締役5名選任の件 第3号議案 監査役1名選任の件

#### 4. その他 本招集 ご通知に 関する 事項

本招集ご通知に際して添付すべき事業報告、連結計算書類、計算書類並びに会計監査報告書及び監査報告書は5頁から29頁のとおりであります。ただし、以下の事項につきましては、法令及び当社定款第13条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://mhgroup.co.jp/ir/library/>) の招集ご通知のページに掲載しておりますので、本招集ご通知には、記載しておりません。

①連結計算書類の連結注記表 ②計算書類の個別注記表

なお、本招集通知添付書類に記載されている連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした書類の一部であります。

以上

株主総会参考書類、事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://mhgroup.co.jp/>) に掲載させていただきます。

## 議決権行使のご案内

### ■ 当日ご出席の場合



同封の議決権行使書用紙を**株主総会当日に会場受付にご提出**くださいますようお願い申し上げます。

### ■ 当日ご欠席の場合



#### ① 郵送（書面）による議決権の行使の場合

後記株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、**平成25年9月25日（水曜日）午後5時まで**に到着するようご返送ください。



#### ② インターネットによる議決権の行使の場合

お手元のパソコンまたはスマートフォンまたは携帯電話から議決権行使サイト (<http://www.evote.jp/>) にアクセスしていただき、同封の議決権行使書用紙に記載されたログインID、仮パスワードをご利用になり、後記株主総会参考書類または議決権行使サイトに掲載されている株主総会参考書類をご検討のうえ、画面の案内に従って、**平成25年9月25日（水曜日）午後5時まで**に賛否を入力してください。

以上

インターネットによる議決権の行使に際しては、**33頁から34頁**を必ずご確認くださいようお願い申し上げます。

## I. 企業集団の現況に関する事項

### 1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度（平成24年7月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、新政権によるインフレターゲットを設定した新しい経済対策・金融政策への期待感から日経平均株価が上昇し、円安の影響などにより輸出関連企業を中心に業績が改善しております。また、個人消費にも回復の兆しが見え始めて参りました。しかしながら、これまでけん引役であった中国経済の成長鈍化などの世界経済の下振れ懸念は依然として存在しており、先行きの不透明感が残る状況となりました。

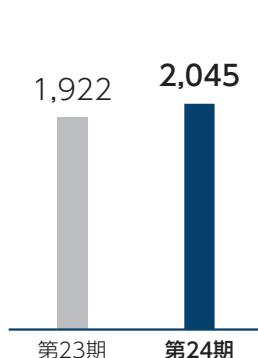
当社グループが属する美容業界におきましても、景況感の改善から今後の伸びが期待されるものの、個人消費の回復は未だ限定的であり、引き続き厳しい環境におかれている状況に変わりはありません。

このような状況のもと、当社グループは、直営サロンにおいては競争力のある人材を育成して個々のサロンの収益力の強化を図るとともに、B Sサロン（フランチャイズサロン）においては当連結会計年度より開始した店舗設備リースを活用して新規出店を行い、独立志向の強い直営店スタッフをはじめ、意欲のあるスタイリストに活躍の場を提供して参りました。

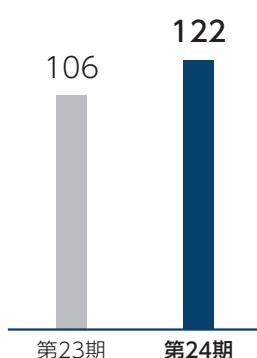
これらの取り組みにより、当連結会計年度はB Sサロン運営事業を中心に売上高、営業利益ともに増収増益となった一方で、特別損失としてジャパン・スプレッド・パートナーズ投資事業組合の清算にとまなう投資有価証券清算損が7,315千円発生いたしました。その他、モッズ・ヘア銀座四丁目店が営業を行っていたサッポロ銀座ビルの建て替え決定により同店をプランタン銀座へ移転し、モッズ・ヘア名古屋栄店のB Sサロンへの転換に伴い同店の近隣への移転を決定いたしました。また、モッズ・ヘア渋谷店につきまして、現在の営業状況及び今後の見通しを勘案し将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額いたしました。これらにより減損損失が33,979千円発生いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,045,104千円（前連結会計年度比6.4%増）、営業利益122,869千円（前連結会計年度比15.1%増）、経常利益127,826千円（前連結会計年度比70.0%増）、当期純利益73,806千円（前連結会計年度比46.8%増）となりました。

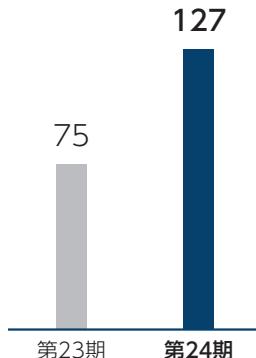
■ 売上高 (百万円)



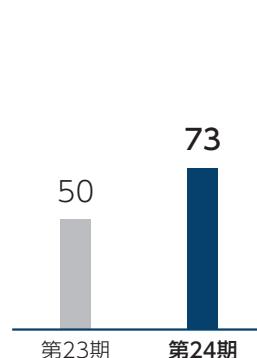
■ 営業利益 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



■ 当期純利益 (百万円)



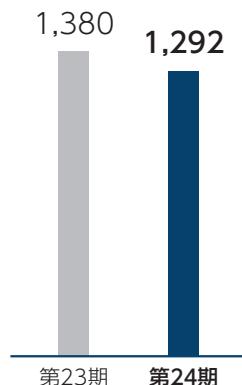
## セグメント別概況

### 直営サロン運営事業

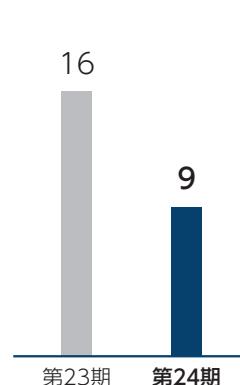
日本全国に展開するB Sサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン17店舗、準直営サロン（業務委託サロン）2店舗の計19店舗を展開しております。

直営サロン運営事業の当連結会計年度の売上高は、仙台パルコ店、千葉店のB Sサロンへの転換などにより減収となり1,292,767千円（前連結会計年度比6.4%減）、セグメント利益は、銀座四丁目店の移転にともなう減損会計の適用により同店の減価償却費が大幅に増加したことが影響し9,943千円（前連結会計年度比39.5%減）となりました。

■ 売上高 (百万円)



■ セグメント利益 (百万円)



## BSサロン運営事業

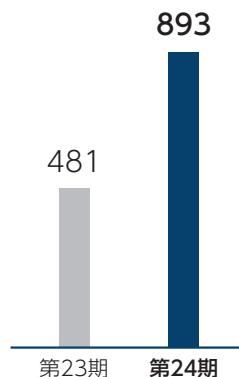
「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。国内では平成24年9月に福岡天神西通り店を、平成25年3月に海浜幕張店をオープンし、平成24年10月に仙台パルコ店を、平成25年1月に千葉店をBSサロンに転換いたしました。また、平成25年3月に、伊勢崎店が高崎店・足利店との経営統合によりクローズし、平成25年5月に郡山店をクローズしております。

海外では平成24年8月に韓国のインチョン (Incheon) においてノンヒョン (Nonhyun) 店、ソンド (Sondo) 店の2店舗を、平成25年5月にソウル (Seoul) においてスクデ (Sookdae) 店をオープンし、平成24年10月にヤンピョン (Yangpeyong) 店をクローズいたしました。その結果、当連結会計年度末日現在において、国内71店舗、韓国21店舗、台湾3店舗の計95店舗となっております。

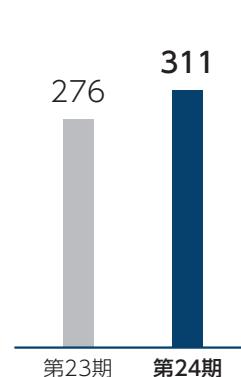
BSサロン運営事業におきましては、当連結会計年度より、意欲のあるスタイリストの独立や既存BSオーナーの事業拡大を財務面で支援し、BSサロンの新規出店を促進するために店舗設備リースを開始しました。

また、直営サロン運営事業を行う子会社(株)アトリエ・エム・エイチのキャッシュ・フローを改善するため直営サロンの設備を買取りリースバックする契約を締結しました。その結果、リース売上高が356,688千円発生し、売上高は合計で893,679千円（前連結会計年度比85.8%増）と大幅に増加いたしました。セグメント利益におきましても、店舗設備リースプランが貢献し、311,007千円（前連結会計年度比12.5%増）と堅調に推移しました。

■ 売上高 (百万円)



■ セグメント利益 (百万円)



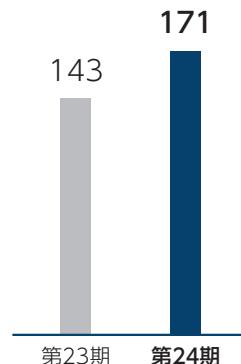
## ヘアメイク事業

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

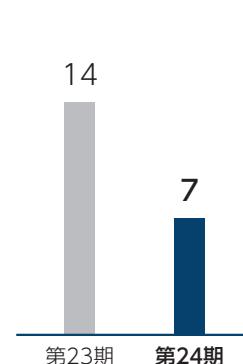
当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」をはじめ世界4大コレクション及び「東京コレクション」への参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

当連結会計年度は、前連結会計年度から引き続き若手ヘアメイクアーティストを中心に受注数が伸びたこと、大口受注が増加したことなどが寄与し、売上高は、171,327千円（前連結会計年度比19.7%増）となりましたが、人件費などが増加したためセグメント利益は、7,630千円（前連結会計年度比47.6%減）となりました。

■ 売上高 (百万円)



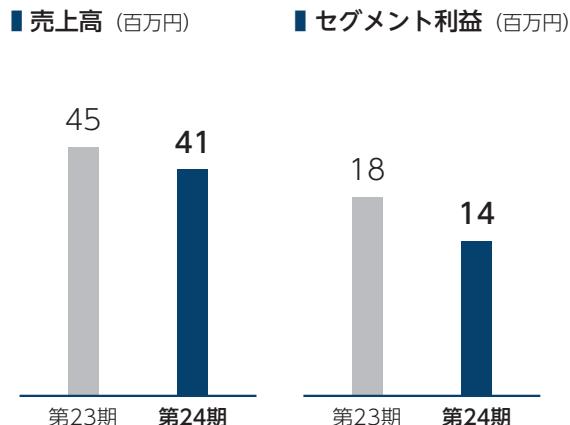
■ セグメント利益 (百万円)



## その他

当社グループでは、国内90店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数は順調に伸びておりますが、それ以外の業務提携料収入などが減少したため、その他の当連結会計年度の売上高は、41,115千円（前連結会計年度比10.2%減）、セグメント利益は、14,256千円（前連結会計年度比21.3%減）となりました。



## 2. 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資総額は41,919千円であります。

設備投資の主な内容としましては、直営サロン運営事業の「モッズ・ヘアプラタナ銀座店」の出店費用であります。

## 3. 資金調達の状況

当連結会計年度末における借入残高はありません。

#### 4. 対処すべき課題

美容室運営事業につきましては、個人事業者を含め競合が数多く存在する業界であり、より強い競争力が求められます。多様化するお客様のニーズ、お客様の期待するホスピタリティに応えるためには、優秀なスタイリストの育成が必須条件となります。また、安定的な業績を上げていくためには、スタイリストをはじめとしたサロンスタッフの定着が重要となります。当社グループはモッズ・ヘアアカデミーによるオリジナルメソッドに基づいた教育システムをより一層充実させ、より短期間でスタイリストを育成できる環境を作り上げていく必要があります。また、より長く安心してサロンスタッフが働ける充実した職場環境も同時に整備していかねばなりません。

また、昨今の美容にかかわる技術水準の進歩は目覚ましく、現在は、独自の美容技術による優位性を独占的に享受できる環境にはありません。従いまして、今後も幅広い顧客の支持を確保していくためには、創造的なスタイルの提案を継続的に行っていく必要があると認識しております。当社グループは、スタジオワークに端を発するモッズ・ヘアの歴史と強みを生かし、ヘアのプレタポルテというモッズ・ヘアのコンセプトを最大限に活用して顧客の支持をより強固なものにして参ります。

その一方で、少子高齢化による市場規模の縮小にも対処していかなければなりません。モッズ・ヘアのメインターゲットである「働く女性」層以外にも顧客層を拡大していくために、M&Aをはじめ様々な可能性を追求して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 5. 財産及び損益の状況

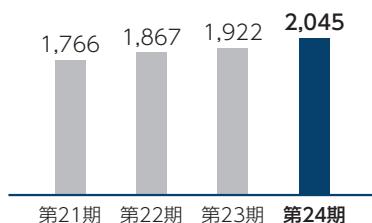
### (1) 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第21期 平成22年6月期	第22期 平成23年6月期	第23期 平成24年6月期	第24期 平成25年6月期 (当連結会計年度)
売 上 高 (千円)	1,766,925	1,867,837	1,922,166	2,045,104
経 常 利 益 (千円)	1,125	74,134	75,190	127,826
当 期 純 利 益 (千円)	39,424	60,405	50,272	73,806
1株当たり当期純利益 (円)	3.53	5.43	4.51	6.62
総 資 産 (千円)	1,289,435	1,322,534	1,218,431	1,380,170
純 資 産 (千円)	506,577	583,620	619,594	677,055
1株当たり純資産額 (円)	45.84	52.35	55.59	60.74

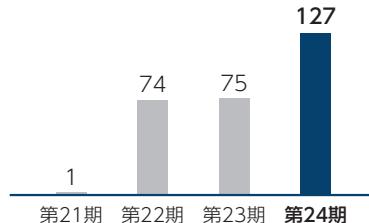
(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数（自己株式を控除した株式数）により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

2. 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式100株の割合をもって株式分割を行っております。そのため表示当初より当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

■ 売上高 (百万円)

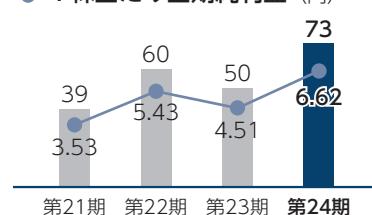


■ 経常利益 (百万円)



■ 当期純利益 (百万円)

● 1株当たり当期純利益 (円)

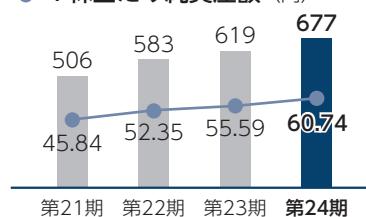


■ 総資産 (百万円)



■ 純資産 (百万円)

● 1株当たり純資産額 (円)



(2) 当社の財産及び損益の状況

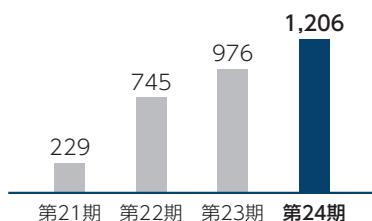
区 分	第21期 平成22年6月期	第22期 平成23年6月期	第23期 平成24年6月期	第24期 平成25年6月期 (当事業年度)
売 上 高 (千円)	229,392	745,042	976,970	1,206,927
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△) (千円)	△27,926	103,291	75,474	115,957
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△) (千円)	76,983	△10,531	45,293	108,969
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	6.89	△0.95	4.06	9.78
総 資 産 (千円)	735,684	1,197,779	1,053,443	1,148,798
純 資 産 (千円)	620,201	626,032	657,026	749,649
1株当たり純資産額 (円)	56.14	56.15	58.95	67.26

(注) 1. △印は損失を示します。

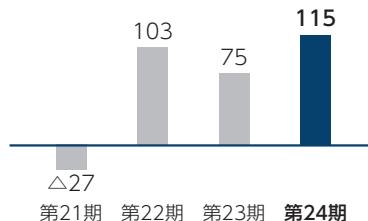
2. 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数（自己株式を控除した株式数）により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

3. 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式100株の割合をもって株式分割を行っております。そのため表示当初より当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

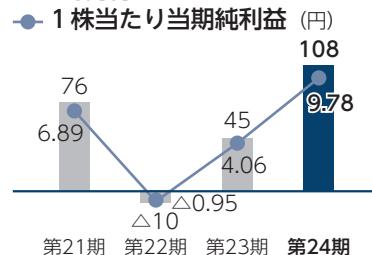
■ 売上高 (百万円)



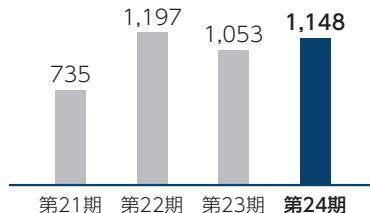
■ 経常利益 (百万円)



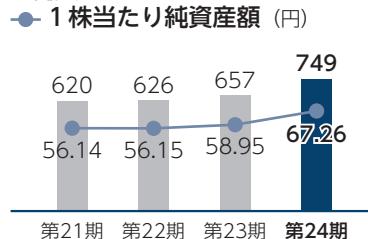
■ 当期純利益 (百万円)



■ 総資産 (百万円)



■ 純資産 (百万円)



## 6. 重要な子会社の状況

名 称	資 本 金	議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
株式会社アトリエ・エム・エイチ	20,000千円	100.00%	直営サロン運営事業
株式会社ライトスタッフ	20,000千円	100.00%	美容室支援事業

## 7. 主要な事業内容（平成25年6月30日現在）

美容室運営事業

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ① 直営サロン運営事業 | ③ ヘアメイク事業 |
| ② BSサロン運営事業 | ④ 美容室支援事業 |

## 8. 主要な営業所（平成25年6月30日現在）

(1) 当社

事 業 所	所 在 地
本 社	東 京 都 渋 谷 区

(2) 子会社

会 社 名	所 在 地
株式会社アトリエ・エム・エイチ	東 京 都 渋 谷 区
株式会社ライトスタッフ	東 京 都 渋 谷 区

## 9. 従業員の状況（平成25年6月30日現在）

(1) 企業集団の従業員数

従業員数（名）	前連結会計年度末比増減（名）
169	△18

(2) 当社の従業員数

従業員数（名）	前事業年度末比増減（名）	平均年齢（歳）	平均勤続年数（年）
16	△19	31.0	6.2

(注) 従業員数が前事業年度末に比して19名減少しておりますが、これは主として当事業年度においてモッズ・ヘア京都店、モッズ・ヘア北山店、モッズ・ヘア伏見桃山店を株式会社アトリエ・エム・エイチへ事業譲渡したためであります。

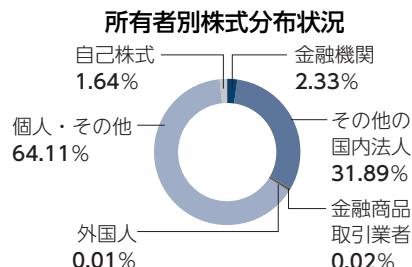
## 10. 主要な借入先の状況（平成25年6月30日現在）

該当事項はありません。

## II. 会社の株式に関する事項（平成25年6月30日現在）

当社は、平成25年7月1日を効力発生として普通株式1株につき普通株式100株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割は平成25年7月1日を効力発生日としておりますので、本項は株式分割前の株式数により記載しております。

1. 発行可能株式総数 400,000株
2. 発行済株式の総数 113,321株（自己株式1,861株を含む）
3. 株主数 9,813名
4. 大株主（上位10名）



株主名	持株数	持株比率
株式会社山洋	33,000株	29.60%
青山洋一	27,393株	24.57%
井関清	3,500株	3.14%
佐藤文彦	2,723株	2.44%
株式会社山陰合同銀行	2,500株	2.24%
青山和男	2,081株	1.86%
有限会社ティーオーシステム	1,606株	1.44%
株式会社ガモウ	1,100株	0.98%
生田目崇	631株	0.56%
石川正宏	443株	0.39%

(注) 1. 当社は、自己株式を1,861株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## III. 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## IV. 会社役員に関する事項（平成25年6月30日現在）

### 1. 取締役及び監査役の氏名等

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役会長	青山 洋一	株式会社山洋 代表取締役
代表取締役社長	佐藤 文彦	
取締役	小西 貴	株式会社ライトスタッフ 代表取締役
取締役	小林 繁之	
常勤監査役	家島 広行	株式会社アトリエ・エム・エイチ 監査役 株式会社ライトスタッフ 監査役
監査役	吉田 修平	弁護士 株式会社サテライト・コンサルティング・パートナーズ 監査役 株式会社アセットパートナーズ 監査役
監査役	生田目 崇	中央大学教授

- (注) 1. 監査役吉田修平氏及び監査役生田目崇氏は、社外監査役であります。  
 2. 当社は、監査役生田目崇氏を大阪証券取引所（平成25年7月16日以後は東京証券取引所）の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 3. 監査役家島広行氏は、長年当社の経理業務を担当しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

### 2. 取締役及び監査役の報酬等の額

区 分	支給人員	報酬等の額
取締役	4名	57,600千円
監査役 (うち社外監査役)	3 (2)	8,280 (2,880)
合 計	7	65,880

### 3. 社外役員に関する事項

- (1) 他の法人等の重要な兼職状況及び当社と当該法人等との関係

監査役吉田修平氏は、株式会社サテライト・コンサルティング・パートナーズ及び株式会社アセットパートナーズの社外監査役です。

なお、当社と株式会社サテライト・コンサルティング・パートナーズ及び株式会社アセットパートナーズとの関係はございません。また、監査役吉田修平氏とは、当社の顧問弁護士として顧問料を支払う関係にあります。

## (2) 当事業年度における主な活動状況

地位	氏名	出席状況及び発言状況
監査役	吉田修平	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回、監査役会8回のうち8回に出席いたしました。弁護士としての専門的な見地から取締役会において取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、適宜、必要な発言を行っております。
監査役	生田目 崇	当事業年度に開催された取締役会13回のうち10回、監査役会8回のうち6回に出席いたしました。大学教授としての専門的な見地から取締役会において取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、適宜、必要な発言を行っております。

## V. 会計監査人の状況

1. 会計監査人の名称 監査法人よつば総合事務所

## 2. 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

(単位：千円)

	支払額
当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	14,285
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	14,285

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務に係る報酬等の額はありません。

## 3. 会計監査人の解任または不再任の決定方針

取締役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会の同意を得たうえで、または、下記に掲げる監査役会の請求に基づいて、会計監査人の解任または不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、取締役会に、会計監査人の解任または不再任を株主総会の会議の目的とすることを請求します。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## VI. 会社の体制及び方針

### 1. 職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制

#### (1) 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社は、法令遵守と公正な倫理観が企業存続の必要条件であるとの認識のもと、コンプライアンス・チームを編成し、体制の構築、整備にあたり、必要に応じて進捗状況を取締役に報告するものとしております。また、コンプライアンス・チームは、内部牽制の徹底、整備、役員と従業員への関連法令及び定款の遵守を徹底するための教育を実施します。監査役会は、法令、定款及び社内ルールの遵守状況を実地に点検する体制としております。

#### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務執行に係る情報については、保存、管理、閲覧を適切かつ確実に行うことを目的として、当該情報に関する社内規程を定め、整備しております。

#### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

稟議規程、職務権限規程等に基づき、個別の案件に対する決裁権限を明確にし、組織的に損失の発生を未然に防止するものとしております。また、当社の経営に重大な影響を与えるリスクが発現した場合に備え、予め必要な方針を整備し、発現したリスクによる損失を最小限にとどめるに必要な対応を行う体制としております。

#### (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は、取締役会を月1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、経営方針等の重要事項についての意思決定を行う体制としております。

#### (5) 当社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

関係会社の業務執行については、関係会社管理規程に従い、適切に情報の収集及び管理を行うものとし、その運営状況は、監査役が点検を行う体制としております。

#### (6) 監査役が、その職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役の職務を補助すべき使用人は、必要に応じて、その補助すべき内容に応じた使用人を選任するものとしております。当該使用人の取締役からの独立性を確保するため、当該使用人の人事異動・評価等を行う場合は、予め監査役に報告し意見を求めるものとしております。

#### (7) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制

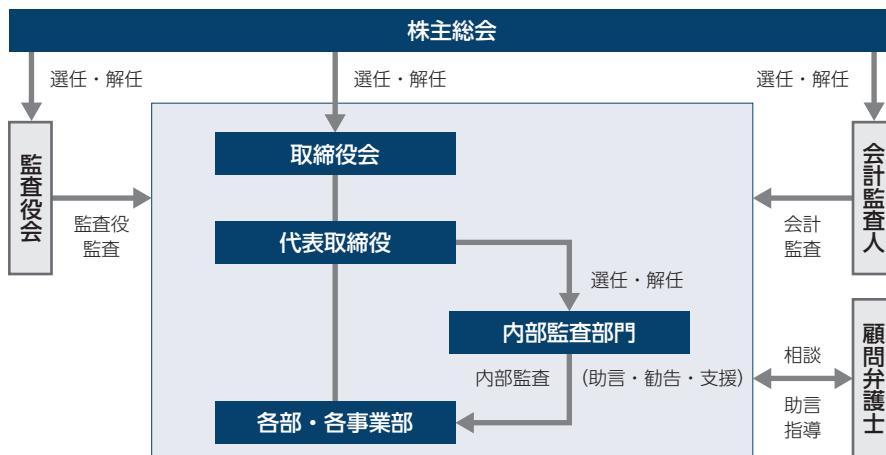
取締役及び使用人は、会社に重大な損失を与える事項又はその恐れがあるとき、取締役及び使用人による違法や不正行為を発見したとき、その他監査役会が報告すべきものと定めた事項が生じたときは、監査役に報告するものとしております。また、監査役は重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、取締役会等の重要な会議に出席し、必要に応じて取締役及び使用人にその説明を求めるものとしております。

**(8) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制**

監査役は、代表取締役社長と定期的に会合を開き、意思の疎通及び意見交換をできる体制をとっており

ます。また、監査役の職務遂行のために、監査役が弁護士及び公認会計士等の外部専門家との連携が必要と判断した場合は、これを求めるものとしております。

**コーポレート・ガバナンス図**



**2. 株式会社の支配に関する基本方針**

当社は現時点では、当該「基本方針」及び「買収防衛策」につきましては、特に定めておりません。

一方で、大量株式取得行為のうち、当社の企業価値及び株主共同の利益に資さないものについては適切な対応が必要と考えており、今後の法制度の整備や社会的な動向も見極めつつ、今後も慎重に検討を行ってまいります。

**3. 剰余金の配当等の決定に関する方針**

当期の期末配当につきましては、1株当たり250円00銭の配当を行うことといたしました。

今後の株主の皆様に対する利益還元につきましては、経営上の重要政策であると認識しており、将来のグループ事業展開に必要な内部留保の充実に留意しつつ、適正な年1回の期末配当を基本方針としております。なお、配当の決定機関は取締役会であります。自己株式取得につきましても、当社の財務状況や株価の推移なども勘案しつつ、利益還元策の一つとして、実施時期及び実施規模を含め、適切に対応してまいります。

次期の配当につきましては、期末配当として1株当たり3円00銭を予定しております。

(注) 平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成25年7月1日を効力発生日としておりますので、当期の期末配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたします。

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第24期 平成25年6月30日現在	(ご参考) 第23期 平成24年6月30日現在	科目	第24期 平成25年6月30日現在	(ご参考) 第23期 平成24年6月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>874,250</b>	<b>688,183</b>	<b>流動負債</b>	<b>524,108</b>	<b>401,161</b>
現金及び預金	309,086	185,272	買掛金	9,077	10,902
売掛金	111,207	94,160	未払金	423,616	304,461
商品	64,992	81,650	未払費用	44,461	43,088
未収入金	300,499	247,832	未払法人税等	11,789	8,034
繰延税金資産	57,526	47,433	未払消費税等	12,934	13,108
リース投資資産	7,353	—	ポイント引当金	—	1,438
その他	28,935	36,889	その他	22,228	20,126
貸倒引当金	△5,350	△5,054	<b>固定負債</b>	<b>179,006</b>	<b>197,675</b>
<b>固定資産</b>	<b>505,920</b>	<b>530,247</b>	長期未払金	41,958	48,370
<b>有形固定資産</b>	<b>177,874</b>	<b>241,406</b>	受入保証金	133,240	148,240
建物	158,536	212,981	資産除去債務	3,643	—
工具、器具及び備品	17,631	24,937	その他	164	1,064
その他	1,706	3,487	<b>負債合計</b>	<b>703,115</b>	<b>598,836</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>2,139</b>	<b>2,965</b>	<b>純資産の部</b>		
その他	2,139	2,965	<b>株主資本</b>	<b>676,950</b>	<b>625,435</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>325,905</b>	<b>285,876</b>	資本金	500,000	500,000
投資有価証券	11,863	27,256	資本剰余金	104,614	104,614
関係会社株式	15,404	—	利益剰余金	98,072	46,558
長期貸付金	75,513	62,017	自己株式	△25,737	△25,737
差入保証金	213,844	244,854	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>105</b>	<b>△5,840</b>
リース投資資産	76,159	—	その他有価証券評価差額金	105	△5,840
繰延税金資産	4,421	10,928	<b>純資産合計</b>	<b>677,055</b>	<b>619,594</b>
その他	12,532	54,656	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,380,170</b>	<b>1,218,431</b>
貸倒引当金	△83,833	△113,837			
<b>資産合計</b>	<b>1,380,170</b>	<b>1,218,431</b>			

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自 至	平成24年7月1日 平成25年6月30日	自 至	平成23年7月1日 平成24年6月30日
売上高		2,045,104		1,922,166
売上原価		1,549,923		1,447,807
売上総利益		495,180		474,358
販売費及び一般管理費		372,310		367,561
営業利益		122,869		106,797
営業外収益		4,956		1,870
受取利息及び配当金		108		172
為替差益		4,463		—
貸倒引当金戻入益		—		576
受取遅延損害金		215		406
法人税等還付加算金		—		487
その他		169		226
営業外費用		—		33,476
支払利息		—		832
投資事業組合運用損		—		31,123
その他		—		1,520
経常利益		127,826		75,190
特別利益		2,216		5,752
固定資産売却益		—		61
事業譲渡益		—		2,214
資産除去債務戻入益		2,216		2,860
その他		—		616
特別損失		45,513		11,757
投資有価証券清算損		7,315		—
固定資産売却損		—		485
減損損失		33,979		10,271
店舗閉鎖損失		4,218		—
その他		—		1,000
税金等調整前当期純利益		84,529		69,185
法人税、住民税及び事業税		14,308		11,208
法人税等調整額		△3,586		7,704
少数株主損益調整前当期純利益		73,806		50,272
当期純利益		73,806		50,272

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自 至	平成 24年 7 月 1 日 平成 25年 6 月30日	自 至	平成 23年 7 月 1 日 平成 24年 6 月30日
株主資本				
資本金				
当期首残高		500,000		500,000
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		500,000		500,000
資本剰余金				
当期首残高		104,614		104,614
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		104,614		104,614
利益剰余金				
当期首残高		46,558		13,004
当期変動額				
剰余金の配当		△22,292		△16,719
当期純利益		73,806		50,272
当期変動額合計		51,514		33,553
当期末残高		98,072		46,558
自己株式				
当期首残高		△25,737		△25,737
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		△25,737		△25,737
株主資本合計				
当期首残高		625,435		591,881
当期変動額				
剰余金の配当		△22,292		△16,719
当期純利益		73,806		50,272
当期変動額合計		51,514		33,553
当期末残高		676,950		625,435

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自	平成24年7月1日 至 平成25年6月30日	自	平成23年7月1日 至 平成24年6月30日
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金				
当期首残高		△5,840		△8,433
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		5,945		2,592
当期変動額合計		5,945		2,592
当期末残高		105		△5,840
その他の包括利益累計額合計				
当期首残高		△5,840		△8,433
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		5,945		2,592
当期変動額合計		5,945		2,592
当期末残高		105		△5,840
新株予約権				
当期首残高		—		171
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		—		△171
当期変動額合計		—		△171
当期末残高		—		—
純資産合計				
当期首残高		619,594		583,620
当期変動額				
剰余金の配当		△22,292		△16,719
当期純利益		73,806		50,272
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		5,945		2,420
当期変動額合計		57,460		35,974
当期末残高		677,055		619,594

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	第24期 平成25年6月30日現在	(ご参考) 第23期 平成24年6月30日現在	科目	第24期 平成25年6月30日現在	(ご参考) 第23期 平成24年6月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>500,743</b>	<b>548,734</b>	<b>流動負債</b>	<b>208,888</b>	<b>181,032</b>
現金及び預金	212,667	130,095	買掛金	44,123	6,126
売掛金	100,568	95,545	未払金	53,688	62,926
商品	48,952	66,123	未払費用	42,954	41,587
繰延税金資産	38,878	28,894	未払法人税等	7,599	5,960
短期貸付金	25,336	165,598	未払消費税等	7,678	5,527
未収入金	33,730	48,841	預り金	50,771	53,780
リース投資資産	34,239	—	その他	2,073	5,123
その他	11,721	18,688	<b>固定負債</b>	<b>190,260</b>	<b>215,384</b>
貸倒引当金	△5,350	△5,054	受入保証金	134,647	153,240
<b>固定資産</b>	<b>648,055</b>	<b>504,708</b>	長期未払金	16,931	22,633
<b>有形固定資産</b>	<b>15,928</b>	<b>77,274</b>	繰延税金負債	38,681	38,681
建物	7,197	58,770	その他	—	829
工具、器具及び備品	7,248	16,230	<b>負債合計</b>	<b>399,149</b>	<b>396,416</b>
その他	1,482	2,272	<b>純資産の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>188</b>	<b>39</b>	<b>株主資本</b>	<b>749,544</b>	<b>662,867</b>
その他	188	39	<b>資本金</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>631,937</b>	<b>427,394</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>104,614</b>	<b>104,614</b>
投資有価証券	11,863	27,256	その他資本剰余金	104,614	104,614
関係会社株式	307,768	292,364	<b>利益剰余金</b>	<b>170,667</b>	<b>83,990</b>
長期貸付金	75,513	82,033	利益準備金	20,154	17,925
差入保証金	82,023	87,450	その他利益剰余金	150,512	66,064
リース投資資産	228,453	—	繰越利益剰余金	150,512	66,064
その他	10,147	52,127	<b>自己株式</b>	<b>△25,737</b>	<b>△25,737</b>
貸倒引当金	△83,833	△113,837	<b>評価・換算差額等</b>	<b>105</b>	<b>△5,840</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,148,798</b>	<b>1,053,443</b>	その他有価証券評価差額金	105	△5,840
			<b>純資産合計</b>	<b>749,649</b>	<b>657,026</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,148,798</b>	<b>1,053,443</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日		自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日	
売上高		1,206,927		976,970
売上原価		770,453		556,185
売上総利益		436,473		420,785
販売費及び一般管理費		326,914		315,800
営業利益		109,559		104,984
営業外収益		6,397		3,730
受取利息及び配当金		1,694		2,536
為替差益		4,463		—
貸倒引当金戻入益		—		576
受取遅延損害金		215		406
その他		25		210
営業外費用		—		33,240
支払利息		—		832
投資事業組合運用損		—		31,123
その他		—		1,284
経常利益		115,957		75,474
特別利益		—		1,390
資産除去債務戻入益		—		1,218
新株予約権戻入益		—		171
特別損失		7,315		4,623
投資有価証券清算損		7,315		—
固定資産売却損		—		485
減損損失		—		3,137
支払和解金		—		1,000
税引前当期純利益		108,642		72,240
法人税、住民税及び事業税		9,656		14,552
法人税等調整額		△9,983		12,395
当期純利益		108,969		45,293

## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自 至	平成 24年 7 月 1 日 平成 25年 6 月30日	自 至	平成 23年 7 月 1 日 平成 24年 6 月30日
株主資本				
資本金				
当期首残高		500,000		500,000
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		500,000		500,000
資本剰余金				
その他資本剰余金				
当期首残高		104,614		104,614
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		104,614		104,614
資本剰余金合計				
当期首残高		104,614		104,614
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		104,614		104,614
利益剰余金				
利益準備金				
当期首残高		17,925		16,253
当期変動額				
剰余金の配当		2,229		1,671
当期変動額合計		2,229		1,671
当期末残高		20,154		17,925
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金				
当期首残高		66,064		39,162
当期変動額				
当期純利益		108,969		45,293
剰余金の配当		△24,521		△18,390
当期変動額合計		84,448		26,902
当期末残高		150,512		66,064

(単位：千円)

科 目	第24期		(ご参考) 第23期	
	自 至	平成24年7月1日 平成25年6月30日	自 至	平成23年7月1日 平成24年6月30日
利益剰余金合計				
当期首残高		83,990		55,416
当期変動額				
当期純利益		108,969		45,293
剰余金の配当		△22,292		△16,719
当期変動額合計		86,677		28,574
当期末残高		170,667		83,990
自己株式				
当期首残高		△25,737		△25,737
当期変動額				
当期変動額合計		—		—
当期末残高		△25,737		△25,737
株主資本合計				
当期首残高		662,867		634,293
当期変動額				
当期純利益		108,969		45,293
剰余金の配当		△22,292		△16,719
当期変動額合計		86,677		28,574
当期末残高		749,544		662,867
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金				
当期首残高		△5,840		△8,433
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		5,945		2,592
当期変動額合計		5,945		2,592
当期末残高		105		△5,840
評価・換算差額等合計		△5,840		△8,433
当期首残高		△5,840		△8,433
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		5,945		2,592
当期変動額合計		5,945		2,592
当期末残高		105		△5,840
新株予約権				
当期首残高		—		171
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—		△171
当期変動額合計		—		△171
当期末残高		—		—
純資産合計				
当期首残高		657,026		626,032
当期変動額				
当期純利益		108,969		45,293
剰余金の配当		△22,292		△16,719
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		5,945		2,420
当期変動額合計		92,623		30,994
当期末残高		749,649		657,026

## 連結計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成25年8月26日

株式会社エム・エイチ・グループ  
取締役会 御中

監査法人 よつば総合事務所

指定社員 公認会計士 神 門 剛 ㊞  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高 屋 友 宏 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社エム・エイチ・グループの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社エム・エイチ・グループ及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成25年8月26日

株式会社エム・エイチ・グループ  
取締役会 御中

監査法人 よつば総合事務所

指定社員 公認会計士 神 門 剛 ㊞  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高 屋 友 宏 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社エム・エイチ・グループの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの第24期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成24年7月1日から平成25年6月30日までの第24期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、常勤監査役が子会社の監査役も兼務しており、子会社の取締役会に出席するほか、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人監査法人よつば総合事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

##### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人監査法人よつば総合事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年8月27日

株式会社エム・エイチ・グループ 監査役会  
 常勤監査役 家 島 広 行 ㊟  
 監 査 役 吉 田 修 平 ㊟  
 監 査 役 生 田 目 崇 ㊟

(注) 監査役 吉田修平、同 生田目崇は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以 上

以 上

## 第1号議案 定款一部変更の件

## 1. 提案の理由

議決権を有しない単元未満株主の権利を定めるため、定款第7条（単元未満株式についての権利）を新設し、以降の条数の繰り下げを行うものであります。

なお、現行定款第5条（発行可能株式総数）、第6条（単元株式数）につきましては、会社法第184条第2項及び第191条の規定に基づき、平成25年4月24日開催の取締役会において、平成25年7月1日を効力発生日として、発行可能株式総数を400,000株から40,000,000株に変更し、単元株制度を採用して1単元を100株とする旨の定款変更を決議しております。

## 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

（下線は変更部分を示します。）

現 行 定 款	変 更 案
<p>(発行可能株式総数)</p> <p>第5条 当社の発行可能株式総数は、40,000,000株とする。</p> <p>(単元株式数)</p> <p>第6条 当社の単元株式数は、100株とする。</p> <p>(新 設)</p>	<p>(現行どおり)</p> <p>(現行どおり)</p> <p>(<u>単元未満株式についての権利</u>)</p> <p>第7条 当社の株主は、その有する単元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することができない。</p> <p>① 会社法第189条第2項各号に掲げる権利</p> <p>② 取得請求権付株式の取得を請求する権利</p> <p>③ 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利</p>
<p>第7条～第47条 (条文省略)</p>	<p>第8条～第48条 (現行どおり)</p>

## 第2号議案 取締役5名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって取締役4名全員は任期満了となりますので、取締役5名の選任をお願いいたしますと存じます。取締役候補者は次のとおりであります。

1 あおやま よういち  
**青山 洋一** (昭和39年8月16日生) 再 任

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 2 年 4 月 当社設立 当社代表取締役社長就任  
 平成 9 年 4 月 株式会社山洋代表取締役就任 (現任)  
 平成 21 年 9 月 当社取締役会長就任 (現任)

所有する当社の株式の数 **27,393株**

2 さとう ふみひこ  
**佐藤 文彦** (昭和53年2月10日生) 再 任

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 16 年 5 月 当社入社 全国移動体営業本部長  
 平成 16 年 9 月 当社取締役就任  
 平成 17 年 10 月 株式会社アトリエ・エム・エイチ代表取締役就任  
 平成 17 年 10 月 株式会社エム・エイチ・グループ代表取締役就任  
 平成 21 年 9 月 当社代表取締役社長就任 (現任)

所有する当社の株式の数 **2,723株**

3 こにし たかし  
**小西 貴** (昭和43年12月14日生) 再 任

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 17 年 7 月 株式会社アトリエ・エム・エイチ入社  
 平成 18 年 3 月 同社取締役就任  
 平成 21 年 9 月 当社取締役就任 (現任)  
 平成 21 年 9 月 株式会社ライトスタッフ代表取締役就任 (現任)

所有する当社の株式の数 **131株**

4 こばやし しげゆき  
**小林 繁之** (昭和37年11月17日生) 再 任

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 18 年 5 月 株式会社アトリエ・エム・エイチ入社  
 平成 18 年 10 月 株式会社エム・エイチ・グループ管理部ディレクター  
 平成 21 年 9 月 当社取締役就任 (現任)

所有する当社の株式の数 **233株**

## 5 <sup>とみさわ くみこ</sup> 富澤 久美子 (昭和33年12月29日生)

新任

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

昭和 55年 4月 株式会社アトリエ・エム・エイチ入社  
 平成 14年 3月 同社取締役就任  
 平成 22年 10月 当社執行役員ヘアメイク事業部ディレクター (現任)

### 所有する当社の株式の数 131株

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
 2. 上記における、株式会社エム・エイチ・グループは平成21年10月の当社との吸収合併により消滅した連結子会社にあたります。  
 3. 各候補者の所有する当社の株式数は、平成25年7月1日付で実施した株式分割前の当期末時点における株式数で記載しております。

## 第3号議案 監査役1名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって監査役吉田修平氏が任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。監査役候補者は次のとおりであります。  
 なお、本議案の提出につきましては、監査役会の同意を得ております。

## <sup>よしだ しゅうへい</sup> 吉田 修平 (昭和27年6月19日生)

再任

### 略歴、地位及び重要な兼職の状況

昭和 57年 4月 弁護士登録  
 昭和 61年 4月 吉田修平法律事務所開業 (現任)  
 平成 6年 5月 株式会社サテライト・コンサルティング・パートナーズ監査役就任 (現任)  
 平成 7年 8月 株式会社アセットパートナーズ監査役就任 (現任)  
 平成 17年 9月 当社監査役就任 (現任)

### 所有する当社の株式の数 319株

- (注) 1. 吉田修平氏は、吉田修平法律事務所の代表をしており、同事務所は当社と法律顧問契約を締結しております。  
 2. 吉田修平氏は、社外監査役候補者であります。社外監査役候補者とした理由は、弁護士としての専門的な見識を当社の監査に反映していただくためであります。また、同氏が職務を適切に遂行することができるものと判断した理由は、前述の実務経験を有することなどを総合的に勘案したためであります。  
 3. 吉田修平氏は、平成17年に社外監査役として就任していただき、在任期間は本定時株主総会終結の時をもって8年となります。  
 4. 候補者の所有する当社の株式数は、平成25年7月1日付で実施した株式分割前の当期末時点における株式数を記載しております。

以上

# インターネットによる議決権行使



インターネットによる  
議決権行使期限

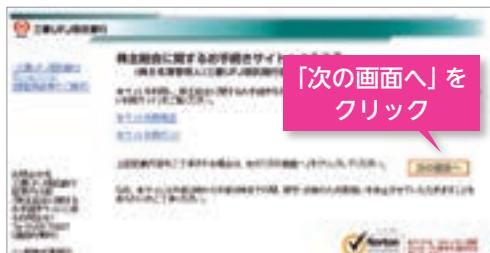
平成25年9月25日(水曜日) 午後5時まで

インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話（iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ）\*から、当社の指定する議決権行使サイト（<http://www.evotef.jp/>）にアクセスしていただくことによってのみ実施可能です。（ただし、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止します。）

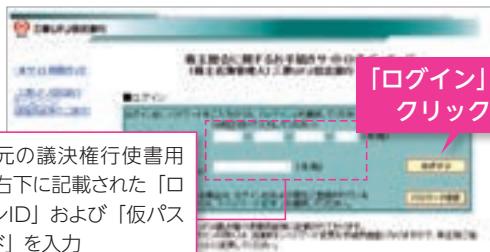
\*「iモード」は(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ、「EZweb」はKDDI(株)、「Yahoo!」は米国Yahoo! Inc.の商標または登録商標です。

## パソコンによる議決権行使方法

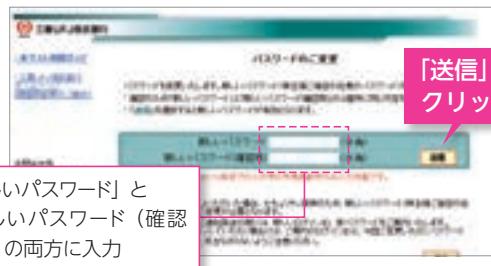
### ① 議決権行使サイトにアクセスする



### ② ログインする



### ③ パスワードを登録する



以降画面の案内に沿って賛否をご入力ください。

## ! ご注意事項

### 1. 議決権行使サイトについて

- パソコン、スマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- 携帯電話による議決権行使は、iモード、EZweb、Yahoo! ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。また、セキュリティ確保のため、暗号化通信（SSL通信）及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。

### 2. インターネットによる議決権行使方法について

- 株主様以外の第三者による不正アクセス（“なりすまし”）や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承ください。
- 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。

### 3. 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- 郵送とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきますのでご了承ください。
- インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。またパソコン、スマートフォンと携帯電話で重複して議決権を行使された場合も、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

### 4. 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

- 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金・電話料金等）は、株主様のご負担となります。また、携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

システム等に関するお問い合わせ（ヘルプデスク）

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-173-027**（通話料無料）

受付時間：午前9時から午後9時まで

## トピックス

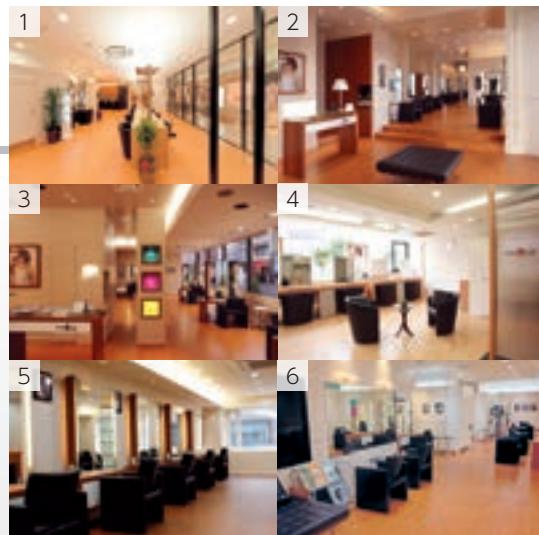
### 美容室運営事業 新規オープンのご紹介

ヘアサロン「モッズ・ヘア」は、ファッションと融合したヘアのプラタポルテを提供するサロンとして、アジアでは日本全国の主要地域をはじめ、現在、韓国・台湾に展開しております。

平成25年3月15日に海浜幕張店、平成25年5月29日に韓国 Sookdae店、平成25年6月1日にプランタン銀座店がグランドオープンいたしました。また、札幌PASEO店、いわき店、津田沼店がそれぞれリニューアルオープンしております。今後もすべての地域においてNo.1サロンを目指すべく圧倒的なブランド力を確立してまいります。

■サロン数 平成25年9月10日現在

直 営 店	15店舗
B S 店	97店舗 (国内73店舗、海外24店舗)
合 計	112店舗



1. 札幌PASEO店 北海道札幌市 平成25年2月22日リニューアル
2. 海浜幕張店 千葉県千葉市 平成25年3月15日リニューアル
3. いわき店 福島県いわき市 平成25年3月30日リニューアル
4. 津田沼店 千葉県船橋市 平成25年5月18日リニューアル
5. Sookdae店 韓国ソウル市 平成25年5月29日オープン
6. プランタン銀座店 東京都中央区 平成25年6月1日オープン



### ヘアメイク事業

当社は「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門ヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しており、「パリコレクション」をはじめ世界4大コレクション及び「東京コレクション」への参加や、CM・ファッション雑誌などを年間3,000ページ以上手掛け、国内及び海外で高い評価を得ております。

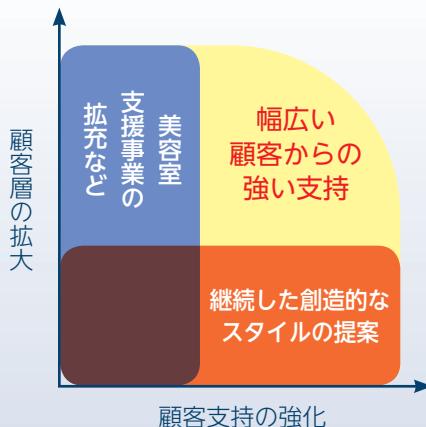
## 今後の成長戦略

### スタイリストの育成と定着

競争が数多く存在し、より強い競争力が求められている美容室運営事業では、多様化するお客様のニーズに応え高付加価値を提供するため、優秀なスタイリストの育成が必須条件となります。また、安定的な業績を上げていくためには、スタイリストをはじめとしたサロンスタッフの定着も重要となります。当社グループはモッズ・ヘアアカデミーによるオリジナルメソッドに基づいた教育システムをより一層充実させ、より短期間でスタイリストを育成できる環境を作り上げていくとともに、より長く安心してサロンスタッフが働ける充実した職場環境も強化してまいります。



モッズ・ヘアアカデミーの研修



### 顧客支持の強化と顧客層の拡大

美容にかかわる技術水準の進歩は著しく、昨今当社独自の美容技術による優位性を独占的に享受し難い環境にあり今後も幅広い顧客の支持を確保していくために創造的なスタイルの提案を継続的に行う必要があります。当社グループは、スタジオワークに端を発するモッズ・ヘアの歴史と強みを生かし、顧客の支持をより強固なものにするとともに、メインターゲットである「働く女性」層以外にも顧客層を拡大していくため、美容室支援事業の拡充やM&Aなど様々な可能性を追求してまいります。

## 株主優待のお知らせ

(注) 平成25年7月1日を効力発生として普通株式1株につき普通株式100株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割は平成25年7月1日を効力発生日としておりますので、本頁は株式分割前の株式数により記載しております。

平成25年6月30日現在の株主様におかれまして、次のとおり株主優待をご利用いただけますのでお知らせいたします。

ご所有株式数	株主優待品
1株以上 3株未満 保有の株主様	「モッズ・ヘア」サロンでご利用いただける優待券 (3,150円分) (税込)
3株以上 保有の株主様	「モッズ・ヘア」サロンでご利用いただける優待券 (3,150円分) (税込) 「モッズ・ヘア」製品 (3,500円相当)

### ■ 発送時期

6月30日現在の株主の皆様 10月中旬に発送予定  
12月31日現在の株主の皆様 3月中旬に発送予定

### ■ 株主ご優待券のご利用について

**対象店舗** 一部のサロンを除き全国の「モッズ・ヘア」サロンでご利用いただけます。

**有効期間** 平成25年10月1日から平成26年3月31日まで

**注意事項** 株主ご優待券のご利用に関しては当社Webサイトの「株主優待」をご参照ください。  
[http://mhgroup.co.jp/ir/share\\_goods/](http://mhgroup.co.jp/ir/share_goods/)



サロンおよび株主優待品の詳細に関しては下記サイトをご参照ください。

モッズ・ヘア公式Webサイト

<http://www.modshair.co.jp/>



## ■ 株主優待制度拡充のお知らせ ■

平成24年12月31日時点の株主様から、3株以上保有の株主様に進呈いたします株主優待品に関して、従来の「モッズ・ヘア ヘアケア製品 (3,500円相当)」以外の当社製品も選択可能とさせていただきます。

### ▶ 選択製品をご希望される場合

- 本書に同封の「株主優待品選択はがき」(切手不要)に必要事項をご記入の上ご返送ください。
  - ご返送期日は平成25年10月31日(消印有効)とさせていただきます。
  - 優待品の発送時期は平成25年10月中旬から11月中旬を予定しております。
- 今お選びいただける製品(次の7品からいずれか一品となります。)

#### Shampoo



シュワーコロシャンプー(300ml) モイスチャーコントロール(300ml) ポリウムプラス(300ml) センシティブシャンプー(180ml)

#### Treatment



シュワーコロトレートメント(240g) スムースリムーブ(240g) センシティブマスク(150g)

### ▶ 選択製品をご希望されない場合

- 従来通り「モッズ・ヘア ヘアケア製品 (3,500円相当)」を進呈いたしますので、**はがきのご返送は不要です。**
- 優待品の発送時期は平成25年11月中旬を予定しております。

#### 注意事項

お選びいただける製品につきましては、小売価格が3,500円以下となりますことを予めご了承ください。ご返送いただいた「株主優待品選択はがき」に不備(複数の製品を選択されているまたは製品を選択されていないなど)があった場合、誠に勝手ではありますが、当社判断にて進呈させていただく製品を決定させていただきます。  
選択製品をご希望される場合でも、ご返送期日(消印有効)までに「株主優待品選択はがき」をご返送いただかなかった場合は、「モッズ・ヘア ヘアケア製品 (3,500円相当)」を進呈いたします。  
モッズ・ヘア サロンでの株主優待製品のお引き渡しはお受けいたしかねます。

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社エム・エイチ・グループ 人事総務部 株主優待担当 宮崎  
TEL: 03 (5411) 7222 e-mail: ir@mhgroup.co.jp

## SALON INDEX (平成25年9月10日現在)

●は優待券利用可能サロン

### 北海道

- 旭川店
- 札幌店
- 札幌琴似店
- 札幌澄川店
- 札幌PASEO店
- 新札幌店
- 札幌宮の沢店

### 岩手県

- 盛岡店

### 宮城県

- 仙台パルコ店

### 福島県

- 会津若松店
- いわき店
- いわき銀座通店

### 新潟県

- 新潟店

### 富山県

- 富山店

### 石川県

- 金沢店
- 金沢ビス店

### 福井県

- 福井店

### 東京都

- 青山プリヴィレージュ店
- 渋谷店
- プランタン銀座店
- 目黒店
- 駒沢店
- 新宿サウス店
- 池袋店
- 二子玉川店
- 豊洲店
- 自由が丘店
- 成城店
- 吉祥寺店 ※1
- 大泉学園店
- 国立店
- 多摩店

### 神奈川県

- 横浜西口店
- 青葉台店
- 相模大野店
- 本厚木ノース店
- 渋谷店
- 日吉店
- 上大岡店
- 鎌倉店

- 藤沢店

### 埼玉県

- 草加店
- 春日部店
- 上尾店
- 熊谷店
- 所沢店
- 志木店
- 越谷店
- 浦和店

### 千葉県

- 千葉店
- 松戸店
- 津田沼店
- 船橋店
- 行徳店
- 市川店
- 柏店
- 海浜幕張店

### 群馬県

- 高崎店
- 前橋店
- 太田店
- 藤岡店

### 栃木県

- 宇都宮店
- 足利店

### 静岡県

- 清水店
- 浜松店

### 愛知県

- 名古屋本山店
- 名古屋栄店
- 岡崎店

### 岐阜県

- 大垣店

### 奈良県

- 奈良店

### 京都府

- 京都店
- 北山店
- 伏見桃山店

### 兵庫県

- 明石ビス店
- 三田店
- 西宮店
- 社店

### 広島県

- 福山店

### 島根県

- 松江店

### 徳島県

- 徳島店

### 福岡県

- 福岡天神店
- 福岡天神西通り店
- 福岡姪浜店
- 福岡百道浜店 ※2
- 小倉店

### 熊本県

- 熊本店

### 長崎県

- 佐世保店
- フレスタSASEBO店



- ※1 吉祥寺店  
平成25年9月20日OPEN予定
- ※2 福岡百道浜店  
平成25年9月14日OPEN予定

# 株主総会 会場ご案内図

## 開催日時

平成25年9月26日（木曜日）  
午前10時（受付開始午前9時）

## 開催会場

青山ダイヤモンドホール  
地下1階「サファイアルーム」

東京都港区北青山三丁目6番8号  
電話 03-5467-2111（代表）  
<http://www.diamondhall.co.jp/>

## 交通のご案内

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線  
「表参道駅」

B5出口直結

東京メトロ副都心線・千代田線  
「明治神宮前駅」

地上行エレベーターを出て  
徒歩11分

JR山手線  
「原宿駅」

表参道口より徒歩15分

駐車場のご用意がございませんので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



株式会社 エム・エイチ・グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目11番1号MHビル  
TEL. 03-5411-7222 FAX. 03-5411-7223  
URL. <http://mhgroup.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。